

日本建築学会・住宅の地方性小委員会通信 No.10-4 (110311)

主査：碓田 智子／事務局：大阪教育大学・教育学部・教養学科・健康生活科学講座
TEL&FAX/ 072-978-3603/ e-mail: tusuda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1
ホームページ：日本建築学会 [http : www.aij.or.jp](http://www.aij.or.jp)
→常置研究委員会一覧→建築社会システム委員会→住宅の地方性小委員会

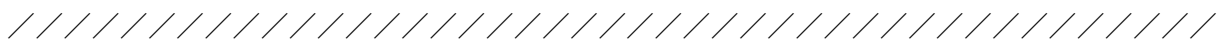
目次：

1. 2011 年度からの小委員会主査・幹事・WG 主査について・・・1 頁
2. 平成 23 年度春の公開研究会（神戸・大阪・京都研究会）第 1 報（お知らせ）・・・2 頁
3. 富山研究会の報告・・・4 頁

今春は、まさに三寒四温で寒暖の差が大きいです。皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。今回の通信では、春の公開研究会の第一報をお知らせします。この研究会は、現主査が企画を担当します。神戸・大阪・京都の三都市の住情報センターでの研修と、都市の下町の魅力を存分に味わっていただく町歩きで構成しています。研究室の学生さん、お知り合いの方なども、ぜひお誘いください。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。また、菊地吉信先生（福井大学）にお世話になりました富山研究会の報告も掲載していますので、ご覧ください。

さて、2009 年・2010 年度の 2 年間、主査を勤めてきました。眞嶋二郎先生をはじめ、皆さまのご協力でお委員会名簿を発行し、全国各地におられる 90 名近くの登録メンバーの研究・情報交流のための基礎資料を整備できたことが一つの成果と思っています。4 月からは田中勝先生（山梨大学）に次期主査をお願いすることになりました。幹事メンバーも大きく交替し、新体制になります。この 2 年間の皆さま方のご協力にお礼申し上げますとともに、小委員会のますますの発展を祈念いたします。

(2010・2011 年度主査 大阪教育大学 碓田智子)



1. 2011 年度からの主査・幹事・WG 主査について

2011 年度からの小委員会の体制は下記ようになります。これまで長らく幹事として本小委員会の発展にご尽力いただきました、三宅醇先生、鈴木浩先生、久保加津代先生、眞嶋二郎先生には、心よりお礼申し上げます。

【主査】田中 勝（山梨大学）

【幹事】

- 北海道 長谷川雅浩（北方建築総合研究所）
- 東北 阿留多伎 真人（尚絅学院大学）・佐藤慎也（山形大学）
- 関東 中島明子（和洋女子大学）・長谷川洋（国土交通省国土技術政策総合研究所）
- 北陸 菊地吉信（福井大学）
- 中部 宮崎幸恵（東海学園大学）
- 近畿 森本信明（近畿大学）・碓田智子（大阪教育大学）
堀田祐三子（和歌山大学）・吉田友彦（立命館大学）
- 中国 間野 博（県立広島大学）
- 四国 曲田清維（愛媛大学）
- 九州 船越正啓（九州産業大学）

【WG】

地域居住政策WG 主査：鈴木浩（H&Pネットワーク）
住まい・まちづくり学習WG 主査：碓田智子（大阪教育大学）

（以上、継承略）

2. 平成23年度春の公開研究会（神戸・大阪・京都研究会）第1報（お知らせ）

神戸・大阪・京都の三都市は、約10年前からそれぞれ住情報センターを開設し、市民への住情報の提供と住まいづくり・まちづくり支援活動を行っています。一昨年度からは、建築学会住まいづくり支援建築会議支援事業部会・関西事業支援実行委員会とタイアップして、神戸・大阪・京都の三都市の住情報センターが市民向け事業を協働で行うなど、新たなステップを踏み出しています。

今回の研究会の企画には、三都市の情報センターにご協力いただきました。地域性を活かした住まい・まちづくりの実践活動を、各住情報センターの訪問とまちあるきを通じて知っていただきたいと思えます。それぞれの町では、まちの達人に案内や解説をお願いしています。さらに、大阪では、本小委員会設立（1983年）の主導者である住田昌二先生にご講演いただきます。

この通信では、皆さまに早く予定を確保していただくために、日程と現時点でのスケジュール案をお知らせします。スケジュールの詳細および参加申し込み方法等については、4月中旬～下旬に第2報としてご案内を予定してします。

多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

◇日程：平成23年5月20日（金）～22日（日）

◇参加費：3000円程度（資料代・謝礼など） ※懇親会費と宿泊費は別途

◇研究会スケジュール案（今後の調整により、訪問時間等は変更する場合があります）

【5月20日】地域性を活かした住まい・まちづくりの実践（神戸編）

13:00 受付（すまいるネット セミナー室）

13:30 神戸市すまいるの安心支援センター・すまいるネットの活動

（JR・阪神・阪急 三宮駅下車）<http://www.smilenet.kobe-jk.or.jp/>

活動説明：一岡係長さんほか

15:00 神戸市長田区・駒ヶ林地区のまちづくり

（古くから漁村として存在する駒ヶ林地区での、路地と古民家を活用したまちづくり）

案内人：松原永季氏（studio CATALYST）

17:30 懇親会（会場未定）

懇親会終了後、大阪（梅田）に移動

宿泊：ホテルサンルート梅田（シングル15室を仮予約、1泊朝食付6550円）

<http://www.hotelsunroute.co.jp/index.html>

【5月21日】地域性を活かした住まい・まちづくりの実践（大阪編）

10:00 大阪市立住まい情報センターの活動
<http://www.sumai.city.osaka.jp/>
活動説明：片岡所長さん

【講演】「持続可能な住宅地づくり」住田昌二先生（大阪市立大学名誉教授）

11:30 大阪市立住まいのミュージアム見学

13:30 大阪市北区・中崎町のまちづくり
（長屋を改修した喫茶店や雑貨屋が点在し、若者が集まる下町スポット）
案内人：藤田忍先生（大阪市立大学、中崎町を活用して授業を展開）
解説：JUN 氏（Salon de AManTO（天人）を経営し、若者の交流とまちづくりを図っているダンサー）
<http://amanto.jp/japanese>

16:30 築70年の長屋・町家の改修（登録文化財・寺西家 阿倍野長屋・町家訪問）
<http://www.teranishike.com/>
案内人：寺西氏

17:30 懇親会（長屋を改修した食事処 旨魯「SHIRO」）

宿泊：ホテルサンルート梅田（シングル15室を仮予約、1泊朝食付7350円）

【5月22日】地域性を活かした住まい・まちづくりの実践（京都編）

10:00 京都市景観・まちづくりセンターの活動
<http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>
活動説明：中島課長さんほか

11:00頃～ 京都の町家・町並み見学（コース検討中）
① 西陣・千両ヶ辻周辺、② 東山・伝建地区を中心、
③ 中京・新町通の町家群、④ 中京・三条通り＋姉小路界限 など

14:00～14:30 京都市内で解散予定

◎ご案内

※初日の会場がある三宮は、神戸空港、新幹線・新神戸駅からのアクセスがよく、新大阪駅からもJR快速電車で30分強です。

※ホテルサンルート梅田は、新大阪から地下鉄御堂筋線で5分の「中津」から徒歩3分、梅田エリアからも徒歩10分程度です。

※三日めの京都では、たぶんJR京都駅のコインロッカーに荷物を預けてからの視察や見学になると思います。

※関空、大阪伊丹空港と主要駅を結ぶリムジンバス時刻表は下記です。三宮行もあります。

<http://www.okkbus.co.jp/index3.html>

遠方の方は、上記を参考にご予約していただければと思います。

3. 富山研究会（平成 22 年度学会大会時研究会）の報告

菊池吉信先生（福井大学）に、全国でもトップクラスの持ち家率を誇る富山県の住宅事情と施策、公共交通を軸とした都心居住を推進する富山市の居住施策をテーマに、たいへん充実した研究会を企画していただきました。

また、研究会の記録は、若手参加者の一人、大阪市立大学大学院後期博士課程の荻千紘さんに写真付きでまとめていただきました。研究会の様子がよくわかる写真は、眞嶋二郎からご提供いただきました。皆様のご協力にお礼申し上げます。

1. 日時・会場

平成 22 年 9 月 8 日、富山県民会館にてレクチャー・現地視察

2. 講師

富山県 出納局検査室 主幹兼工事検査員 鍋島賛郎氏（元 建築住宅課）
土木部建築住宅課 副主幹兼住宅係長 瀧本宏之氏
富山市 都市整備部都市再生整備課 課長 栗島正憲氏
建設部市営住宅課 主幹 澤井修治氏

3. 実施内容

（1）レクチャー

①富山県の住宅事情と住宅政策（富山県庁：鍋島氏、瀧本氏）

- ・富山県の全体的な住宅事情と住宅政策についての紹介
- ・富山県の持ち家率は、77.5%と高い。
- ・住宅政策の変遷としては、昭和～平成にかけては、県営住宅の建設や雪に強い住宅づくりに関して力を入れて行ってきた。
- ・平成に移行してからは、高齢社会対応としてバリアフリー住宅調査や高齢者向け優良賃貸住宅の認定および高齢者円滑入居賃貸住宅の登録・閲覧等、また木造住宅振興としてウッドタウンプロジェクト等。その他耐震化推進などの政策を実施。
- ・県営住宅建設は、昭和 45 年から 50 年にかけて建設数のピークをむかえ、現在の全管理戸数は 2731 戸であり、昭和 60 年以降建設はそのうち 523 戸。

②富山市の住宅事情と住宅政策の主な取り組み（富山市役所：栗島氏）

- ・まちなか居住の推進策、再開発、コンパクトシティ施策に関連した住宅政策や事業紹介。
- ・歩いて暮らせる交通網の整備として、「富山ライトレール」平成 18 年度から運行。当初予想利用者を大きく上回る。
- ・駐車場・低未利用地、地方都市の抱える問題。（駐車場の必要性により、青空駐車場の利用大。）
- ・コンパクトシティへの施策：事業者向けには、建設者の補助を実施する「富山市まちなか共同住宅建設促進事業」、建設費の上乗せ補助を実施「富山市まちなか優良賃貸補助事業」等。
- ・高齢者優良賃貸住宅 2 カ所は、常に満室状況。
- ・コンパクトなまちづくりを実現するため、
 - ① 便利な交通施策（増便）、
 - ② 住宅供給（商業との関連が出遅れているとのこと）、
 - ③ 施設の核となるもの、について検討必要。

(2) 現地視察

①中心市街地の特徴的な事業

・まちなか居住施策に関連した再開発事業地区や住宅等の事例見学
○グランドプラザ

・平成 19 年オープン。ガラスのガレリアを設けたまちなか賑わい広場。

- ・大きさは、南北 65m、東西 21m、面積約 1400m²、天井高 19m。
- ・空間の内外を二つの通路が横切り、天候に左右されない開放的。
- ・イベントスペースとして使用できる

(例：ファッションショー・保育所の園外保育など)。

○富山市借上市営住宅および高齢者向け優良賃貸住宅等バス視察

- ・借上市営住宅の利点、建設費が安い。(市 1/3、国 1/3=2/3 補助)
- ・イーストタウンコートの場合、家賃は所得によって違うが、約 2~5 万円。

②太閤山ニュータウン

- ・高齢化の進む郊外の大規模団地、元UR住宅の紹介。
- ・昭和 30~40 年代に、富山新港の建設計画時、企業従業員の住宅需要を目的として建設。
- ・人口減少、世帯規模縮小、高齢化が問題。
- ・現在は 2 戸 1 戸改善した住戸は、全て埋まっている。改修後、4LDK。
- ・古く狭い住戸は、空家もしくは外国人の居住が多い。

③八尾のまちなみ

- ・昭和初期頃まで、生糸・和紙等の産業や塩などの売買により、商業都市として発展。
- ・車社会による道路拡張等により、一時期街並みが乱れ、現在は修景。
- ・八尾文化会議から生まれ、昭和 62 年~平成 3 年 5 つのテーマを核とした「HOPE 計画」策定へ。「八尾地域住宅相談所」大工棟梁などがアドバイザーとなる相談窓口設置・「やつお住まい賞」表彰制度など、八尾型にこだわり、継続したことにより、周辺へも良い影響。

(3) 懇親会 (だるま亭)

・レクチャーと現地視察の後は、富山の美味しい海の幸とお酒をいただきつつ、皆さんの研究活動等の近況報告をまじえた懇親会が行われ、和やかな雰囲気での締めくくりとなりました。本来ならば、1 日ではまわることが難しいであろう富山市内のあちこちを、貴重なお話を聞きながら半日で堪能することができ、とても充実した富山研究会でした。



写真①グランドプラザ



写真②太閤山ニュータウン



写真③八尾まちなみ



写真④懇親会の様子

住宅の地方性小委員会・富山研究会 (2010. 9. 8)



上左：懇親会、 上&中右：研究会
下：グランドアザ、八尾まちなみ、太陽山NT



(写真提供：眞嶋二郎先生)